ISS
Institute of Social Science
The University of Tokyo
東京大学社会科学研究所

NEWSLETTER

No.3（2018年春）

INDEX

◆ 社研お便り
◆ 刊行物案内
◆ 人事情報
◆ お知らせ
◆ 所員の発言
◆ リンク集
◆ 研究会・セミナー
◆ CSRDA/SSJDA
◆ 全所的プロジェクト
◆ 社研インタビュー

◆ 社研お便り

「所長就任に際して」

佐藤 岩夫

4月1日から3年間、社会科学研究所の所長を務めることになりました。

社会科学研究所は1946年8月に発足し、昨年2月に、創設70周年の記念式典を行いました。本研究所のように、法学・政治学・経済学・社会学など社会科学の多分野のスタッフが集まる社会科学の総合的な研究所は、全国の大学でも大変ユニークな存在です。この間、本研究所は、全所的プロジェクト研究（現在は、玄田有史教授をリーダーとする「危機対応学」が進行中です）、グループ共同研究、スタッフ個人の研究（専門分野基礎研究）の三層構造で所員が活発に研究を進めるほか、研究所附属の社会調査・データアーカイブ研究センターが日本最大の社会調査データアーカイブであるSSJデータアーカイブを運営し、また、本研究所とオックスフォード大学出版会が共同で英文専門誌Social Science Japan Journal（1998年4月創刊）を編集・刊行するなど、国内外の社会科学研究の発展に重要な役割をはたしてきました。そのような多方面の活動を行う本研究所の所長を務めることになったことには大きな責任を感じています。

私が社会科学研究所に赴任してから17年あまりがたちますが、この間、本研究所の自由で恵まれた研究環境の中で伸び伸びと研究ができたことは大変幸せなことであったと思っています。自分の研究の基本は変わらないつもりですが、同時に、多くの大規模な調査研究に関わるようになったことなどは、本研究所の研究環境からも大きな影響を受けた結果のように思います。また、全所的プロジェクト研究（「希望学」）を機縁として、岩手県釜石市をはじめとする地域の人々やその生活に関わる活動の機会がもてるようになったことも大変楽しく、うれしいことでした。

今回所長に選出されて、自分の研究時間が少なくなることへの戸惑いや心配も大きいものがありますが、長きにわたり本研究所の恵まれた研究環境を享受してきた身としては、その恩返しのつもりで、微力ではありますが、社会科学研究所のこれまでの活動をさらに充実させ、社会科学研究の発展のために力を尽くすつもりです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

◆ お知らせ

01＞ 社会科学研究所図書室からの重要なお知らせ

エレベータ工事に伴うサービス内容の変更について

社会科学研究所図書室では、書庫内エレベータ改修工事のため、一部資料の利用停止及び利用方法の変更をいたします。

■工事期間　2018年5月21日（月）～ 2018年9月末

利用停止資料や利用方法の詳細については

図書室ウェブサイトで知らせします。

http://library.iss.u-tokyo.ac.jp/news.html#20180508

02＞ 東大教員の著作物を自らが語る広場 – UTokyo BiblioPlaza

東大本部HP企画「東大教員の著作物を自らが語る広場 – UTokyo BiblioPlaza」に社研所員の著作も多数登場しています。

https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/
トップページ左メニューから「社会科学研究所」をクリックしてご覧ください。

03＞ UTOKYO VOICES（広報戦略本部）

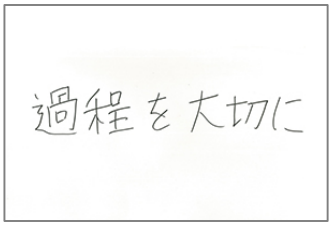
東大本部HP企画「UTOKYO VOICES 」に石田 浩が登場しました。

UTOKYO VOICES とは＞東京大学を構成するのは志をもった卓越した人々です。このシリーズでは、論文や著書だけからは分からない東京大学の人を紹介します。

好奇心こそが常識を打破し人生を駆動する。

好奇心こそ人生の駆動力

――石田の研究生活そのものでもある。



続きはこちらから＞　https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/features/voices007.html

04＞ 大湾 秀雄が2018年4月より東京大学社会科学研究所より早稲田大学政治経済学術院に移籍した為、「企業内データ計量分析プロジェクト　日本の「人事」を科学する」も早稲田大学に移籍しました。

◆ 研究会・セミナー

01＞ 社研セミナー

2018-02-13 " Educational Association in Mate Selection in Japan: Evidence from the Japanese Life Course Panel Survey "
茂木 暁（社会科学研究所）
http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20180213.html

2018-03-13 " Japan's Immigration Politics, 1966-2018: Four Waves of Immigration Debate and the Making of a New Immigration Country "
David Chiavacci (Institute of Asian and Oriental Studies, The University of Zurich)
http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20180313.html

2018-04-24 " How do Inventors Respond to Financial Incentives? - Evidence from the 2001 Court Decision on Employee Inventions in Japan (Coauthored with Koichiro Onishi and Sadao Nagaoka) "
大湾 秀雄（早稲田大学）

2018-05-08 「貨幣経済の謎—ケインズは第二公準を捨てたのか？」
大瀧 雅之（社会科学研究所）
http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20180508.html

02＞ Contemporary Chinese Studies 現代中国研究拠点 http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/

2018-01-26 第40回現代中国研究拠点セミナーシリーズ
"China's Belt & Road Initiative and India-China Relations"
Jabin T. Jacob（鄭嘉賓）, PhD（Fellow, Institute of Chinese Studies, New Delhi, India & Associate Editor, China Report）

2018-02-08 2017年度第1回研究会　現代中国研究拠点一帯一路班
「対外援助統計からみた台頭する中国」
北野 尚宏（JICA研究所所長）

2018-02-09 2017年度第2回研究会　現代中国研究拠点一帯一路班
「法的観点から見た一帯一路の課題と論点」
趙 万一（西南政法大学）
朱 大明（北京大学）

2018-03-28　現代中国研究拠点大学卒業生就業・失業研究班　ワークショップ
「日中の若年層調査の比較研究」

2018-03-29　現代中国研究拠点国際交流セミナー:
「中国のニューノーマル経済:問題と挑戦」

03＞ 産業組織研究会　http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOWJA.html

2018-01-24 "Partial Privatization under Multimarket Price Competition (coauthored with Susumu Sato) "
益田 拓(東京大学大学院経済学研究科博士課程大学院生)

2018-03-24 "The Third International Workshop on Mixed oligopolies"

2018-03-28 "Asymmetric Product Line and Multi-Homing (coauthored with Akifumi Ishihara) "
大木 良子(法政大学経営学部准教授)

2018-04-25 "Output and Welfare Implications of Oligopolistic Third-Degree Price Discrimination"
(coauthored with Michal Fabinger)
安達 貴教 (名古屋大学大学院経済学研究科准教授)

04＞ 東大・バークレー戦略的パートナーシップ　講演会

東京大学社会科学研究所では、カリフォルニア大学バークレー校との戦略的パートナーシップ事業の一環として、比較政治、特にアフリカ諸国の民主化及びガバナンスがご専門のLeonardo R. Arriola准教授の講演会を開催致しました。3月27日、28日の両日に本郷キャンパスで異なる内容の講演会を行いました。詳細につきましては、以下のウェブページをご参照下さい。

2018-03-27 ＜講演会「アフリカに民主主義は定着するのか？」＞
日本語:http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news_and_events/lecture_arriola1
英語:http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news_and_events/lecture_arriola2

2018-03-28 ＜講演会「選挙権威主義体制における閣僚任命と野党の分裂」＞
日本語:http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news_and_events/lecture_arriola3
英語:http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news_and_events/lecture_arriola4

05＞ 現代日本研究会(The ISS Contemporary Japan Group) http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/

2018-04-19 "Political Corruption and Scandals in Postwar Japan —A Historical Overview—"
Steven R. Reed (Emeritus, Chuo University)

◆ 全所的プロジェクト　危機対応学
SOCIAL SCIENCES OF CRISIS THINKING

危機対応学 HP
https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/

公式Twitter
https://twitter.com/crisisthinking

01＞ 活動報告

2018-01-16　第8回危機対応学ワークショップ
「全所的プロジェクトに関するグループ討議」

2018-02-12～26　危機対応学　第2回釜石調査を行いました。
詳細は、こちらをご覧ください。
http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/2018-kamaishi.html

2018-02-17　第4回危機対応学トークイベント＠釜石
「海と希望の学校in釜石」
玄田 有史・中村 尚史・青山 潤（大気海洋研）・高橋 五月（法政大学）
トークイベントの報告については、こちらをご覧ください。
http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/2174.html

2018-02-23　コーネル大学とのプレキックオフミーティング＠立命館大学
「東京大学とMeridian180-日本ベース機能の展開」玄田 有史
報告は、こちらをご覧ください。
http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/180223meridian180.html

2018-04-17　2018年度第1回危機対応学ワークショップ
「今後の危機対応学の進め方について」

02＞ 研究成果

2018-03　東京大学地域貢献「見える化」事業
2017年度研究報告書を危機対応学HPに掲載いたしました。
http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/mieruka/2017-report.html

東京大学地域貢献「見える化」事業とは
http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/mieruka/about.html

03＞ メディア掲載

2018-02-24　『復興釜石新聞』掲載：「海と希望の学校」スタートへ　東大社会科学研究所　海洋研究センター
トークイベントで情報交換」

2018-03-15　『広報かまいし』掲載：まちの話題のページ（P14）に掲載：
「危機対応学トークイベント「海と希望の学校in釜石」」

04＞ 表彰

2018-02-09　岩手県釜石市より市勢80周年を記念する功労者表彰を国立大学法人東京大学が受けました。その際、希望学・危機対応学等の調査研究事業を通じた市の地域振興と復興支援への貢献が評価されました。

http://www.city.kamaishi.iwate.jp/shisei_joho/shicho_shitsu/kisha_kaiken/detail

希望学

A Wish for Something to Come True by Action
http://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/

01＞ メディア掲載

2018-02-24　『復興釜石新聞』に「「海と希望の学校」スタートへ
東大社会科学研究所　海洋研究センター
トークイベントで情報交換」が掲載されました.

2018-03-06　岩波ブックレット『3.11を心に刻んで』（岩波書店編集部）に
玄田 有史のエッセイが掲載されました。

https://app.box.com/s/6nc2lqvbl79wc2e69o5rm2m7fwe1af33

2018-04　『社会が現れるとき』（東京大学出版会）に西野 淑美（東洋大学）
「空間の自由／空間の桎梏 都市空間への複数のリアリティ」が
掲載されました。

2018-05　佐藤 由紀（玉川大学）のエッセイ「希望学ー社会の中の希望を探る」
が、2018年5月号全人（玉川学園広報誌）に掲載されました。

https://app.box.com/s/6nc2lqvbl79wc2e69o5rm2m7fwe1af33

◆ 刊行物案内

佐藤 香

『幸福づくりの
ヘルスプロモーション』

（学校法人聖カタリナ学園
2017年12月）

**棚澤 能生、佐藤 岩夫、高橋 寿一、
高村 学人 編**

『現代都市法の課題と展望』
原田純孝先生古稀記念論集

（日本評論社 2018年1月）

水町 勇一郎

『「同一労働同一賃金」のすべて』

（有斐閣 2018年2月）

**大内 伸哉、川口 大司 編著
（川田 恵介 6章7章）**

『解雇規制を問い直す
金銭解決の制度設計』

（有斐閣 2018年2月）

三浦 まり 編　濱田 江里子、金 成垣、水島 治郎、千田 航、大沢 真理、駒村 康平、井手 英策、宮本 太郎

『社会への投資
　＜個人を＞支える　＜つながり＞を築く』

（岩波書店 2018年3月）

玄田 有史

『雇用は契約
　雰囲気に負けない働き方』

（筑摩書房 2018年3月）

大瀧 雅之

『経済学』

（勁草書房 2018年3月）

水町 勇一郎

『労働法　第7版』

（有斐閣 2018年3月）

遠藤 環、伊藤 亜聖、大泉 啓一郎、後藤 健太 編

『経済学
　「アジアの世紀」を学ぶ 』

（有斐閣 2018年3月）

宍戸 常寿　林 知更　編

『総点検　日本国憲法の70年』

（岩波書店 2018年3月）

ディスカッションペーパー（外国語シリーズ）

F-181　Masaki NAKABAYASHI, "Self-fulfilling Distortion and Ownership Structure: At the Dawn of the Japanese Capitalism"　が改訂されました。2018-02-09（初版2016年9月）

ディスカッションペーパー（外国語シリーズ）

F-163　Aigerim ZHANGALIYEVA and Masaki NAKABAYASHI, "Heritage from Czar: The Russian Dual System of Schooling and Signaling" が改訂されました。2018-02-20（初版2013年9月）

ディスカッションペーパー（外国語シリーズ）

F-189　Kenji ISHIDA, "The Status Attainment Structure for Immigrants in Japan: An Empirical Analysis Comparing Native Japanese with First- and Second-Generation Immigrants"　が刊行されました。2018-04-13

ディスカッションペーパー
（パネル調査プロジェクトシリーズ）

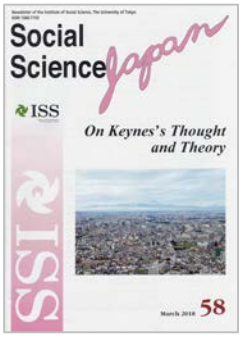
No.104 柳下 実（首都大学東京大学院）・石田 賢示、「生活時刻変数のクリーニングと基礎的分析 」が刊行されました。2018年1月

ディスカッションペーパー
（パネル調査プロジェクトシリーズ）

No.105 石田 浩・藤原 翔・白川 俊之（広島大学）・石田 賢示、「パネル調査から見る働き方、生活時間、世代間支援：「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査（JLPS）2017」の結果から」が刊行されました。2018年1月

Social Science Japan Newsletter

SSJ第58号(On Keynes's Thought and Theory)が刊行されました。詳細、目次は、SSJ Newsletter のページをご覧ください。PDFによる全文ダウンロードも可能です。
https://newslet.iss.u-tokyo.ac.jp/ssj58/index.html



社会科学研究所研究シリーズ No.63(大沢 真理(編)『第28回社研シンポジウム(国際シンポジウム)「知識経済をジェンダー化していく」の記録』)が刊行されました。
2018年3月

社会科学研究所研究シリーズ No.64(Junji Nakagawa (ed.),Private Standards and Global Governance: In Pursuit of Social Protection throughout the Global Supply Chains)が刊行されました。2018年3月

★刊行物について、詳細は下記をご覧ください。

所員の著書:https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/books/2018/index.html

ディスカッションペーパー:https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/dp/

Social Science Japan Newsletter:https://newslet.iss.u-tokyo.ac.jp/

社会科学研究所研究シリーズ:https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/issrs/issrs/index.html

◆ 所員の発言

01> 新聞・雑誌

2017-12-03	『東京新聞』(朝刊)「時代を読む」に、宇野 重規の「「半熟卵」の日本政治」が掲載されました。
2018-01-13	『日本経済新聞』(朝刊)の「今を読み解く」に、玄田 有史の「AI時代の人間の働き方 直観養い誇りある決断を」が掲載されました。
2018-01-20	『朝日新聞』(朝刊)の「わたしの紙面批評」に、宇野 重規の「希望へのヒント 若者の言葉の中に」が掲載されました。
2018-01-21	『東京新聞』(朝刊)「時代を読む」に、宇野 重規の「滑稽なネズミ」が掲載されました。
2018-01-24	『日本経済新聞』(朝刊)の「経済教室」に、玄田 有史の「底上げ・格差是正こそ重要、氷河期世代の生活改善も」が掲載されました。
2018-01-25	『朝日新聞』(朝刊)の「(論壇時評)福祉の逆説　充実を支持する層は　歴史社会学者・小熊英二」に大沢 真理の座談会での発言が掲載されました。
2018-02-12	『日本経済新聞』(朝刊)「経済教室」に中川 淳司の記事「トランプ政権2年目の通商政策「米国第一」展望は不透明」が掲載されました。
2018-02-25	『東京新聞』(朝刊)「時代を読む」に、宇野 重規の「マクロンの徴兵制」が掲載されました。

2018-03-05 『読売新聞』(朝刊)の「解題新書」に、宇野 重規の「個性的生き方 評伝で堪能」が掲載されました。

2018-03-20〜29 伊藤 亜聖の「加速する中国のイノベーション」が、『日本経済新聞』の「やさしい経済学」に連載形式(全8回)で掲載されました。

2018-03-29 『朝日新聞』(朝刊)の「米、関税テコに譲歩迫る 米韓FTA妥結 日本にも要求か」に、中川 淳司のコメントが掲載されました。

2018-04-13 『日経産業新聞』(朝刊)、丸川 知雄へのインタビュー記事「中国シェア企業、なぜ相次ぎ日本上陸?」が掲載されました。

2018-04-15 『日経ヴェリタス』49ページ、田中 亘へのインタビュー記事「変わる会社法、論点は——情報開示、投資家と識者に聞く、東京大学田中亘教授、株主提案、5個で十分」が掲載されました。

2018-04-28 『日本経済新聞』(朝刊)、「経済論壇から」"経済政策の行方に注目:非正規の処遇改善へ議論"に玄田 有史のコメントが掲載されました。

2018-05-02 ケネス・盛・マッケルウェインのエッセイ「世界の中の日本国憲法」が『潮』(2018年6月号)に掲載されました。

2018-05-03 『日刊工業新聞』ニュースイッチ、石田 浩と藤原 翔へのインタビュー記事「進まぬ職場のメンタルヘルス対策、管理職の対応が企業の損失を決定づける」が掲載されました。

2018-05-03 『朝日新聞』(朝刊)、林 知更へのインタビュー記事「(憲法を考える)「変えたい」と向き合う」が掲載されました。

2018-05-03 『中日新聞』、玄田 有史へのインタビュー記事「賃上げ なぜ進まない:ボーナスにメリハリを」が掲載されました。

2018-05-10 『中央公論』2018年6月号に、松村 敏弘の「民泊はシェアリングエコノミーの試金石」が掲載されました。

02> テレビ・ラジオ

2018-01-24 文化放送『大竹まことゴールデンラジオ』の「大竹メインディッシュのコーナー 」に玄田 有史が出演しました。

2018-03-09 NHKワールドTV『NEWS ROOM TOKYO』に中川 淳司が出演し、米国の鉄鋼関税措置とTPP11についてコメントしました。

2018-05-02 NHK『あさイチ』憲法特集「知ってビックリ! 日本の憲法を世界と比べてみたら」にケネス・盛・マッケルウェインが出演し日本国憲法の特徴についてコメントしました。

03> ウェブサイト

2018-02-20 言論NPO『言論スタジオ』の「世界の自由貿易はどの方向に向かおうとしているのか」に中川 淳司が出演しました。http://www.genron-npo.net/studio/2018/03/post_71.html

2018-04-15 05:30『日本経済新聞電子版』田中 亘へのインタビュー「株主総会どう変わる?株主の提案権制限へ一招集通知の発送前倒しも 企業と株主の対話促す」が掲載されました。

2018-05-07 玄田 有史の「中高年化する就職氷河期世代の厳しい現実」が『nippon.com』に掲載されました。

◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター（CSRDA/SSJDA）

01> SSJDAデータ公開情報

2018-01-22
1166「第24回参議院議員通常選挙全国意識調査，2016」（明るい選挙推進協会）

2018-01-30
1147「インターネットによる男性の育児休業等取得による働き方や追加出生意欲の変化に関する調査，2016」（内閣府経済社会総合研究所）

2018-02-06
1161「全国中小企業動向調査（小企業編），2017.1-3」（日本政策金融公庫総合研究所）
1162「外国人材の活用に関するアンケート，2016」（日本政策金融公庫総合研究所）

2018-03-19
1176「アフリカの村落給水組織と協調的地域社会形成に関する研究，2009」（JICA研究所）

2018-03-26
1152「第62回東京大学学生生活実態調査，2012」（東京大学学生委員会）
1153「第63回東京大学学生生活実態調査，2013」（東京大学学生委員会）
1154「第64回東京大学学生生活実態調査，2014」（東京大学学生委員会）
1155「第65回東京大学学生生活実態調査，2015」（東京大学学生委員会）

2018-04-06
1151「育児と介護のダブルケアに関するアンケート，2017」（北九州市保健福祉局 長寿社会対策課）

2018-04-10
1163「第52回学生生活実態調査，2016」（全国大学生活協同組合連合会）

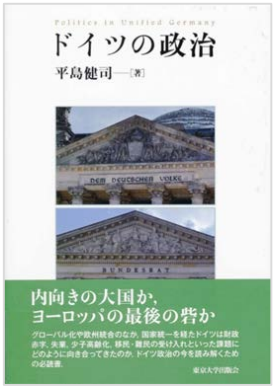
社会調査・データアーカイブ研究センター：https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/

◆ 社研インタビュー

01> 第30回　新刊著者訪問

『ドイツの政治』
（東京大学出版会 2017年3月）

平島 健司（専門：比較政治・ドイツ＝ヨーロッパ政治）



——本書は、いわばドイツ政治を構成する要素と、それらの要素間の相互作用を論じていますので教科書ではありません（といっては出版社からおこられそうですが）。政党を初めとするさまざまな主体が、国家統一後に残された課題をどのように解決しようとしてきたのか、という関心に従ってその政治過程を再構成しようと試みたものです。　（続きはぜひ本文をご覧ください！）

http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/hirashim_2018_03.html

第31回　新刊著者訪問

『日本の人事を科学する　因果推論に基づくデータ活用』

（日本経済新聞出版社2017年6月）

大湾 秀雄（専門：労働経済学，組織経済学）

——データ活用に対する社会的ニーズが高まる時期に本書を出版できたという点は運が良かったと思います。お陰で企業や業界団体、メディアなど様々な組織から問い合わせや相談が増えました。その中で、企業から学術研究用にデータを頂くことが容易になりました。数年前だったらお声がけしてもなかなか協力してくれなかったであろう複数の企業や団体と共同研究に向けての話し合いをしています。　（続きはぜひ本文をご覧ください！）

http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/hirashim_2018_03.html

◆ 人事情報

（教員）退職・転出　2018.3.31付け

異動内容	氏名	職名	所属等	転出先
辞職	大湾 秀雄	教授	比較現代経済部門	早稲田大学政治経済学術院教授
辞職	白川 俊之	助教	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	広島大学総合科学研究科准教授
辞職	苫米地 なつ帆	助教	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	大阪経済大学情報社会学部講師
任期満了	池田 陽子	助教	国際日本社会部門	
任期満了	香川 めい	特任助教	共同研究（ベネッセコーポレーション）	大東文化大学社会学部講師
任期満了	御旅屋 達	助教	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	山口学芸大学教育学部講師

（教員）採用・転入　2018.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等	前所属等
採用	荒木 一男	准教授	比較現代政治部門	福井県総合政策部政策推進課企画参事
採用	大久保 将貴	助教	比較現代政治部門	大阪大学人間科学研究科助教
採用	河野 正	助教	比較現代経済部門	学習院大学国際研究教育機構PD共同研究員
採用	大堀 研	助教	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	

採用	仲 修平	助教	附属社会調査・ データアーカイブ研究センター	
採用	大崎 裕子	特任助教	共同研究 （ベネッセコーポレーション）	

教授（委嘱）・国内客員　2018.4.1付け				
委嘱内容	氏名	職名	委嘱部門	御所属等
（称号付与）	竹内 直人	客員教授	比較現代政治部門	京都橘大学現代ビジネス学部教授
（称号付与）	南雲　智映	客員准教授	比較現代政治部門	東海学園大学経営学部准教授
（称号付与）	盛山 和夫	客員教授	比較現代社会部門	東京大学名誉教授、 独立行政法人日本学術振興会 学術システム研究センター副所長
（称号付与）	田中 慶子	客員准教授	比較現代社会部門	慶応義塾大学　特任准教授
（称号付与）	坂口 尚文	客員准教授	比較現代社会部門	慶応義塾大学　特任准教授

（事務部）退職・転出　2018.3.31付け			
異動内容	氏名	職名	転出先
定年退職	新井 忠	総務チーム副事務長	医学部・医学系研究科外部資金係一般職員（再雇用）
在籍出向	丹羽 靖	総務チーム係長	日本学術振興会人材育成事業部 海外派遣事業課海外派遣係長
在籍出向	山崎 みどり	図書チーム係長	国立女性教育会館情報課情報係係長（併）専門職員
配置換	宇治 美和子	総務チーム係長	史料編纂所財務・研究支援チーム係長
配置換	三谷 芽生子	図書チーム主任	法学政治学研究科等図書閲覧係主任

（事務部）採用・転入　2018.4.1付け			
異動内容	氏名	職名	前所属等
転入	矢野　雅彦	副事務長	経済学研究科等副事務長
転入	柴崎　啓子	総務チーム係長	教育・学生支援部学生支援課係長
転入	川崎　伸一	総務チーム係長	医学部附属病院管理課施設管理チーム係長

転入	森　恭子	図書チーム係長	教養学部等図書課情報サービス係係長
再雇用	手代　絹子	図書チーム一般職員	法学政治学研究科等図書整理係係長

（短時間有期雇用職員）退職　2018.3.31付け

異動内容	氏名	職名	所属等	転出先
任期満了	中川　宗人	特任研究員	広報室・SSJJ編集室	
任期満了	福田　直人	特任研究員	研究戦略室	帝京大学経済学部経営学科講師
任期満了	佐藤 香織	特任研究員	大湾研究室	国士舘大学経営学部講師
任期満了	毛塚　和宏	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院講師
任期満了	濱沖　敢太郎	特任研究員	システム管理室	鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系講師
任期満了	佐藤　淳平	特任研究員	現代中国研究拠点	
任期満了	鈴木　恭子	学術支援専門職員	危機対応学支援室	
任期満了	茂木　暁	学術支援専門職員	広報室	
任期満了	山浦　由佳	学術支援職員	大湾研究室	

（短時間有期雇用職員）採用　2018.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等
採用	芦田　登代	特任研究員	広報委員会
採用	MASLOW Sebastian	特任研究員	国際日本社会部門
採用	横山 真紀	特任研究員	国際交流委員会

（短時間有期雇用職員）その他　2018.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等	前職名等
所内異動	佐藤　和宏	特任研究員	システム管理室	社研学術支援専門職員(短時間)
所内異動	谷口　沙恵	学術支援専門職員	共同利用拠点室	社研特任専門職員(短時間)
所内異動	海野　聡子	学術支援専門職員	研究戦略室	所長秘書 社研特任専門職員(短時間)

（短時間有期雇用職員）採用　2018.5.1付け			
異動内容	氏名	職名	所属等
採用	山浦　由佳	学術支援職員	現代中国研究拠点

◆ 社会科学研究所/リンク集

01> 各種最新情報: https://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/

02> 研究会・セミナー案内: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html

03> 人材公募情報: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html

04> 刊行物一覧: https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html

（2019年6月20日改訂）

2018年5月15日/東京大学社会科学研究所広報委員会発行
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1　TEL: 03-5841-4904